



背側カックアップスプリント 作成手順参考資料

パシフィックサプライ(株)
事業開発本部

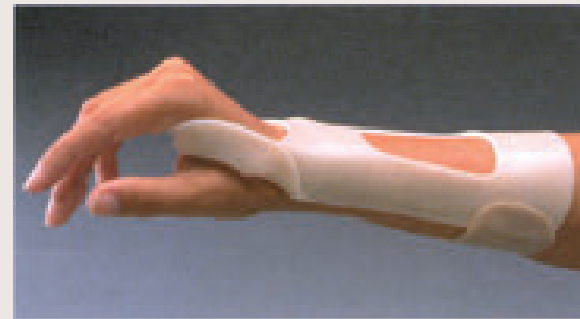
背側カックアップスプリント

①目的・対象者

機能肢位（背屈25度から30度、とう尺屈0度）に保持し、リハビリ・もしくは日常生活の補助を行う

適応

とう骨神経麻痺・腱鞘炎
脳卒中片麻痺リハビリ訓練用
など



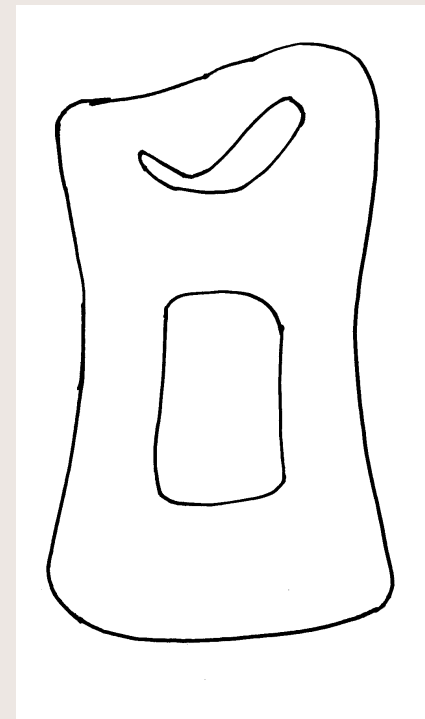
①作成前に(片麻痺の場合)

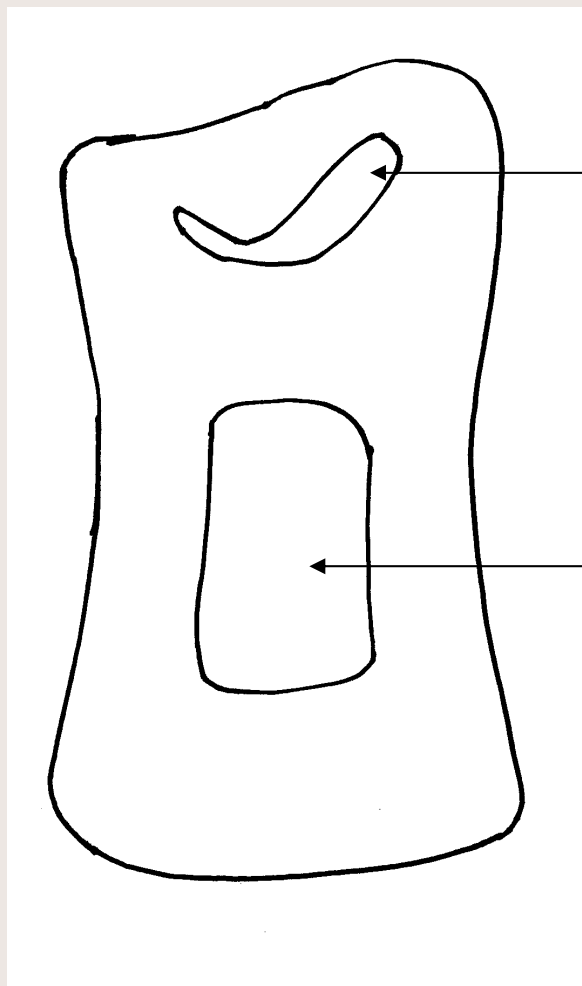
1. 手関節・手指を動かし、**どれくらい動けば痙縮が起こるか、どのような肢位なら痙縮が起こらないか**確認する。
2. 作成するスプリントの目的を確認する。
-筋緊張の低減？動作の補助？
3. 1,2を踏まえ、細かい形を考える。
-中間位？軽度掌屈位？

②型紙について

今回は、S・Mサイズのプレカットを転写した型紙を使用
女性がSサイズ、男性がMサイズになることが多いが、
手の大きさによって使い分ける

第2-5MP関節の幅：
6~7.5cm：Sサイズ
7.5~9センチ：Mサイズ





指を通す穴

空気穴
※必要の際に開ける

③シートの切り出し方

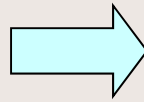
1、シートをお湯に入れ温める

時間の目安(65℃の場合)

オルフィットソフト・ソフトNS・ハード・ハードNS・アクアNS

→縁が5mmほど透明になる(本体は半透明)

他のシート→約1分後



2、シートを取り出す(詳細は⑥参照)

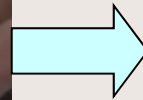
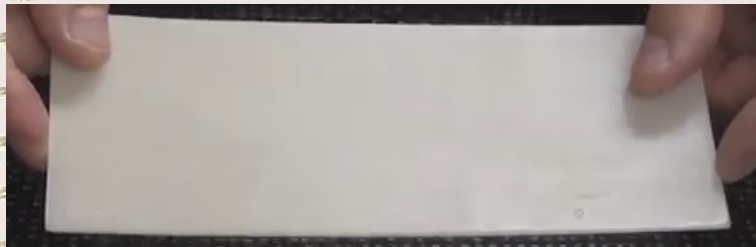
3、シートをカットする

医療用はさみを使用。ジョキジョキと音がするくらいが切りやすい。刃の先に手を置かないよう気をつける。

④シートを温める

1. シートをお湯(65℃～75℃)の中に入れる
2. シートが完全にやわらかくなる(=モールドできる状態になる)まで待つ

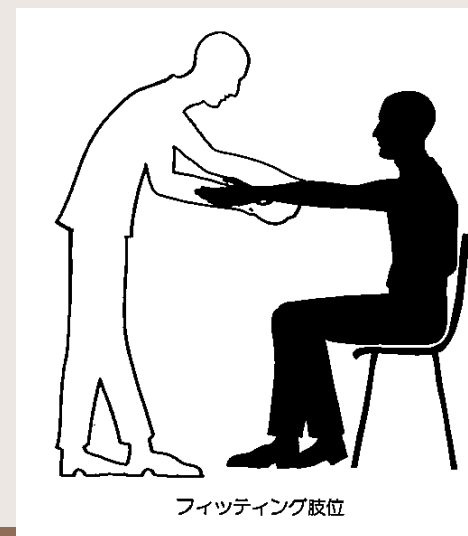
取り出す時間の目安(65℃のお湯)
オルフィットソフト・ソフトNS・アクアフィット: 透明
その他のシート: 約3分後



後ろのヒートパンライナーが見えるまで！

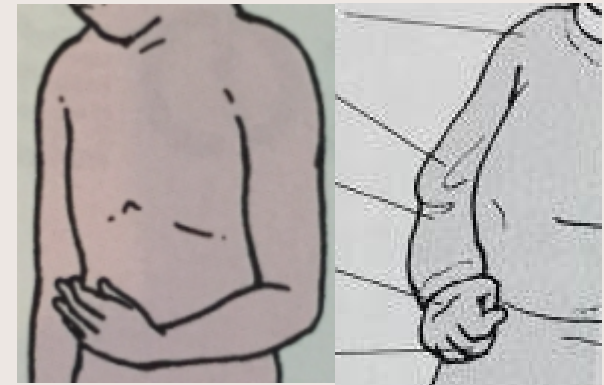
⑤手の肢位の確認

- 1.机のコーナーを使用する
セラピストがモールドしながら様々な角度から手の状態を確認できるようにする
- 2.セラピストはモールドする手の正面に立つ
横（手関節角度）と正面（掌側フィッティング）
が確認できるポジションとする
手は回内位



⑤手の肢位の確認

- 患者様の負担軽減、作りやすさや出来等を左右する
- 患者様が取りやすい肢位でスプリント作製練習（片麻痺：肩屈曲内旋・前腕回内・肘手関節指屈曲、腕は体幹の正面等）
 - 作製前に指の伸展ストレッチ（手動・フィンブル等）
 - 枕やタオルでポジション調整する
 - 小さい移動式の机を使い、スプリントを作りやすい場所へ移動する
 - 緊張が強いと臥位で作るケースあり



⑥シートを取り出す

1. お湯でセラピスト・患者様の手と腕を湿らす。湿らさないと…

- ・やけどを引き起こす可能性
- ・拘縮・痙縮が強くなる
- ・シートがはがれにくくなる



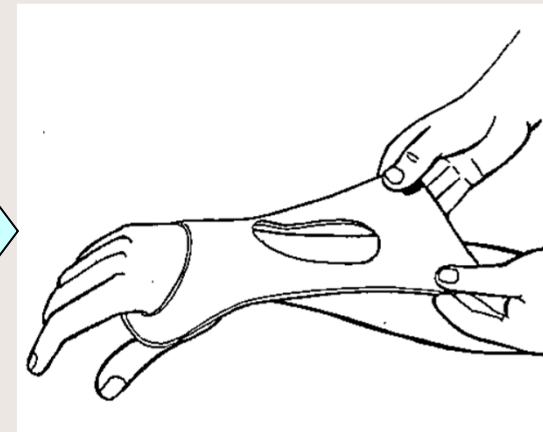
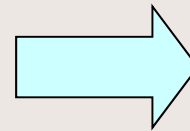
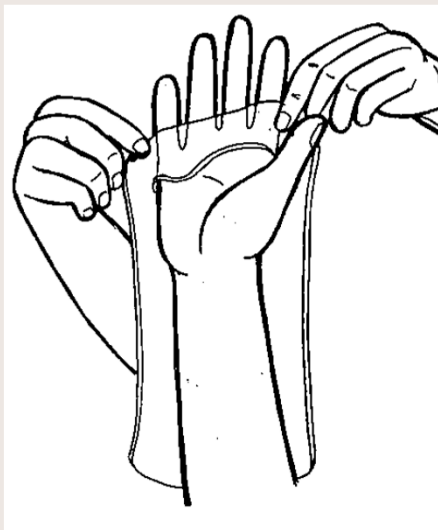
2. シートを取り出す
ヒートパンライナーを上げてお湯から出す。両手で持つとシートの誤接着を抑えられる



3. 机の上やふたの裏の冷たい水滴をつけて表面を冷やす
タオルだと手や机に付着する

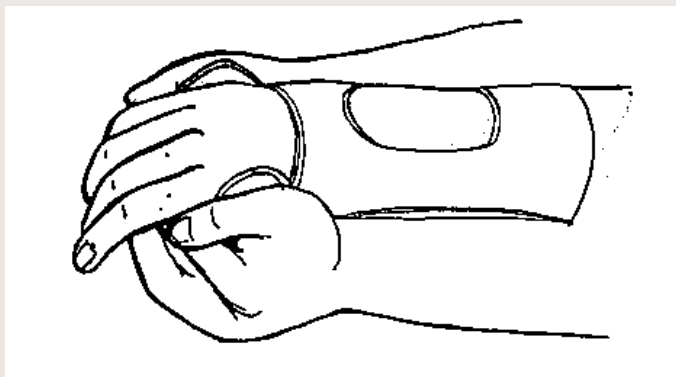


⑦モールド

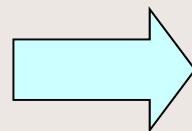


1. 上の写真の向きでシートの穴に指を通し、MP近位部までMP直下バーを下げる

2. 腕を下げ、前腕2/3までシートを下げる。MP直下バーをひっくり返す



3. 親指の腹で手部サイドのウィングをなで、少し立てる



4. 片手で前腕部の形状を出し、もう一方で手関節の調整と横アーチの形状を出す
→親指で押し込まないように注意する。

⑧チェックポイント

近位からチェック

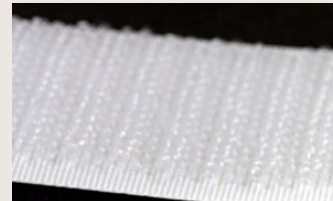
1. 手関節の肢位、角度（機能的肢位:20°）
2. 縁が肘関節から2,3指ほど離れているか
3. 支持部が前腕部の2分の1ほどあるか
4. シートの縁が茎状突起（尺側・橈側共に）にぶつかっていないか
5. MPの動きを制限していないか
6. スプリントの向きがまっすぐか

⑨ベルクロ取付

尺側に1本取り付ける。片手で装着できるようにする
とう側にオス、尺側にメスベルクロを付ける



フックテープ
(オスベルクロ)



ループテープ
(メスベルクロ)

1. オスベルクロを長さ2.5cm,メスを適当な長さに切る。縁は丸くカットする。
2. オスベルクロが付く部分のシートの表面をヒートガンで3~5秒程温め、貼り付ける
※表面に光沢ができ、触ると少しぺたぺたするまで温める。
3. メスベルクロ同様に行う

※永久接着させたい場合は、本体を紙やすりで削ってから接着させる

※オスベルクロは自着性の場合そのまま接着できるが、ヒートガンで加熱するとさらに取れにくくなる

※メスベルクロは本体を削り、接着部分の毛をカットするとさらに付きが良くなる

オスベルクロ接着方法 (自着性ベルクロが無い場合)

- 1、オスベルクロを目的の長さ+1cmの長さでカットする
- 2、裏返して、両端を5mmほど折る
- 3、浮いた部分は接着剤などで止める
- 4、再度裏返し、シートをヒートガンで軽くあぶり、オスベルクロを接着させる

端部分に凹凸ができるため、通常通りカットして貼るよりはがれにくくなる

